

ISSN 0386-2577



研究紀要 29

— 50周年記念論集 —

令和 8 年 2 月

公益財団法人 千葉県教育振興財団

発刊の辞

公益財団法人千葉県教育振興財団は、昭和49年11月に財団法人千葉県文化財センターとして、文化財保護思想の涵養と普及、地域文化の向上に資することを目的として発足以来、ここに50周年を迎えることとなりました。

50年の間に1,900あまりの遺跡の発掘調査を行ってきました。発掘調査に伴う調査報告書は800冊を超え、研究紀要は10周年・20周年・30周年の記念論集を含めて28冊を刊行、研究連絡誌は93号を刊行し、その成果は高く評価されております。

当財団に関わる調査の成果は膨大な量に達し、その活用を広く図るため、ここに過去50年にわたる調査の成果を集積し、当財団の活動の一助とするために『研究紀要29』を「設立50周年記念論集」として、刊行の運びとなりました。

本書に掲載された各論文は、当財団の技術職員及び転退職された方々から広く研究論文を募集したものです。投稿された方々が、日々の業務の合間や勤務外の時間を利用して、日頃の自己研鑽された成果をとりまとめたものです。本書が、考古学研究の資料、埋蔵文化財調査技術向上のための資料として広く活用されることを願ってやみません。

令和8年2月

公益財団法人千葉県教育振興財団
理事長 植野 英夫

目 次

— 公益財団法人 千葉県教育振興財団50周年記念論集 —

発刊の辞	理事長 植野英夫	
千葉市六通神社南遺跡出土の槍先形石器について	島立 桂	1
神子柴石器群の特質とその意味 —大型尖頭器・石斧・石刃石器群—	橋本勝雄	19
香取市鴫崎貝塚出土の大形哺乳動物遺存体から 推定する早期撚糸文終末期の狩猟活動	小宮 孟	45
縄文前期の集落変遷と生産用石器の組成から見た森林資源利用の在り方 —柏北部東遺跡群の調査成果から—	上守秀明	71
柏市石揚遺跡出土土偶の再検討	安井健一	99
縄文時代道路状遺構の用途について	川島裕毅	119
縄文時代におけるヒスイの利用開始から大珠盛行期に至る諸問題	小林清隆	155
房総における縄文時代中期環状集落の成果と課題 —半世紀を超える大規模調査の成果から—	清藤一順	179
東関東における縄紋中期中葉末土器群の一樣相 —小山台型・子和清水型深鉢の提唱—	西川博孝	203
縄文時代中期後葉から後期前葉の集落遺跡の検討 —印旛郡酒々井町墨古沢遺跡・墨古沢南Ⅰ遺跡と関連遺跡を中心に—	小澤政彦	231
環状記念物の歴史的意義 —東京湾沿岸と南東アメリカの比較から—	高梨俊夫	261
九十九里浜沿岸地域北部における縄文時代の水域環境変化 —栗山川流域の低湿地遺跡調査成果の検討から—	小川慶一郎	285
縄文時代丸木舟の形態について～前か後ろか（予察）	沖松信隆	317
縄文時代後・晩期の深鍋使用痕	渡辺修一	355
弥生時代墓制の変遷 —房総地方の発掘調査成果から—	加藤修司	377
道の由来を探る —市原条里制遺跡の調査成果から—	蜂屋孝之	399
古墳時代土玉考 —土玉使用祭祀の様相について—	當眞嗣史	413

京葉地域の五世紀社会変動	雨宮 龍太郎 ……	439
鍛冶滓、最初の一滴	神野 信 ……	473
佐倉市岩富古墳群の分析	白井 久美子 ……	495
土師神社考	萩原 恭一 ……	521
千葉県における形象埴輪配列に関する一考察	川田 航平 ……	537
千葉県下出土の古代鉄斧 －千葉県教育振興財団調査資料を中心に－	片山 祐介 ……	559
長煙道カマドと俘囚の移配 －上総国北西部地域を中心に－	栗田 則久 ……	585
奈良・平安時代を主体とする下総国東部の鉄生産遺跡	糸川 道行 ……	609
上総国武昌郡高舎里とその故地	天野 努 ……	635
古代東国における「罪」意識と氏族集団の解体 －多文字墨書土器の信仰的背景と古代集落－	笹生 衛 ……	643
房総の戦国期から江戸初期における一様相 －房総における正木頼忠の証跡－	齋藤 修佑 ……	667
発掘調査された佐倉窯	木原 高弘 ……	693
千葉県における埋蔵文化財行政の展開	斎木 勝 ……	721

編集後記

ここに当財団設立50周年にあたり、文化財センター技術職員（過去に在籍した者を含む）による調査研究成果をとりまとめ、『研究紀要』29号として刊行の運びとなりました。

当財団の記念論集としては、10周年記念（『研究紀要』10号、昭和61年3月刊行）、20周年記念（『研究紀要』16号、平成7年1月刊行）、30周年記念（『研究紀要』24号、平成17年3月刊行）に次いで刊行となります。

刊行までの経過は、以下の通りですが、実施要項の策定から原稿募集、さらに刊行まで3年8か月を要しました。そのため、執筆者の皆様には多大なる御負担・御迷惑をかけることとなりました。執筆者の皆様が御多忙な中、原稿を提出されたことは大変な御苦労があったことは想像に難くありません。

執筆された各位に敬意を表するとともに、当財団の50年にわたる調査研究成果の一つとして、この『研究紀要』29号が広く活用されることを願ってやみません。

なお、『研究紀要』29号の編集業務は、調査第二課長當眞嗣史が担当しました。

設立50周年記念事業実行委員会

50周年記念論集経緯

- 令和4年6月15日 記念論集実施要項策定
- 7月6日 原稿提出希望者募集
(当財団の技術職員として在職したもの及び在職歴のあるものを募集対象)
- 8月26日 募集締切(申込総数45名)
- 9月8日 第4回設立50周年記念事業準備委員会にて申込者全員を選考、決定
- 10月12日 原稿執筆依頼
- 令和6年10月31日 原稿提出期限
- 令和7年3月31日 原稿提出最終期限
- 7月31日 印刷業者決定
- 8月1日 入稿(最終執筆者30名)
※校正3回のうち執筆者校正再校まで
- 令和8年2月20日 刊行

研究紀要29 - 50周年記念論集 -

令和8年2月20日 発行

発行者 公益財団法人 千葉県教育振興財団 文化財センター
〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809-2
電話 (043)422-8811
URL / www.echiba.org/bunkazai/

印刷所 株式会社 正文社
千葉市中央区都町1-10-6